

# 長野県文化財保護審議会への諮問について

## 文化財・生涯学習課

下記の文化財について、長野県宝及び長野県天然記念物に指定したいので、文化財保護条例（昭和50年長野県条例第44号）第4条第3項及び第30条第2項の規定により、長野県文化財保護審議会に諮問する。

### 記

#### 1 長野県宝に指定する文化財

	名称（所在地）	員数	所有者	概要及び指定理由
①	みやしただけじゅうたく 宮下家住宅 （下伊那郡阿南町）	1棟	みやしたかねよし 宮下金善	○江戸時代中期（1700年頃）建造の木造平屋建て民家住宅。増改築が少なく、江戸時代の原形を伝えている。棟持柱（水平方向に伸びる棟木を直接支える柱）に特色があり、民家建築の技巧や変遷を見る上で貴重。 ○「和合の念仏踊り」（重要無形民俗文化財）の舞台となる庭と建造物が一体となる景観も貴重。
②	もくぞうふどうみょうおう 木造不動明王 立像 （長野市）	1軀	ふどうじ 不動寺	○鎌倉時代前期（1200年代前半）作の彫刻。 ○高さ151cm。石山寺（滋賀県）保管の経典（重要文化財「石山寺校倉聖教」）に描かれている不動明王の図像に一致する稀有な仏像。
③	てつぞうあみだにょらい 鉄造阿弥陀如来 立像 （東筑摩郡筑北村）	1軀	筑北村 やぎく 八木区	○鎌倉時代（1275年）作の彫刻。 ○高さ48cm。鉄仏で銘記がある善光寺式阿弥陀如来像として全国的にも珍しい。

#### 2 長野県天然記念物に指定する文化財

	名称（所在地）	所有者	概要及び指定理由
①	とおやまがわ 遠山川の埋没林と埋没樹 （飯田市）	長野県、 飯田市	○奈良時代（714年頃）の大規模な斜面崩壊により遠山川が塞がれ、ヒノキ林等が埋没してきたもので、この時代に起きた遠江地震の影響が示唆される。 ○全国的には火山噴火に関連する埋没林が多い中、地震との関連が示唆されている自然遺産として貴重。 ○災害予測や防災対策を検討する上でも重要な資料でもあり、防災教育への活用もできる。 ○包蔵地2箇所（小道木埋没林包蔵地、大島埋没樹包蔵地）、標本樹2本（畑上産標本樹、小道木産標本樹）を指定。

1 ①「宮下家住宅」(阿南町) 写真



【棟持柱】



1②「木造不動明王立像」(長野市) 写真



1 ③「鉄造阿弥陀如来立像」(筑北村) 写真



【銘記】

「為入一切衆生骨 建治元年  
／十二月 日 西阿」

2①「遠山川の埋没林と埋没樹」（飯田市）写真



【小道木埋没林包蔵地】



【大島埋没樹包蔵地】



【小道木産標本樹（梨元ていしゃ場）】



【畑上産標本樹（南信濃自治振興センター）】

# 案内図

<p style="text-align: center;"><b>1①「宮下家住宅」</b> (下伊那郡阿南町和合850)</p>	<p style="text-align: center;"><b>1②「木造不動明王立像」</b> (長野市青木島町大塚133番地 不動寺)</p>
<p style="text-align: center;"><b>1③「鉄造阿弥陀如来立像」</b> (東筑摩郡筑北村東条八木 八木公民館)</p>	

# 案内図

## 2①「遠山川の埋没林と埋没樹」 (飯田市南信濃小道木ほか)

